



不妊症の原因—子宮内膜症には注意が必要です



生活習慣の変化による現代病とも言われる不妊症。今回は悪化させると不妊症の原因にもなる婦人病、子宮内膜症の話題を取り上げてみます。

Q.子宮内膜症は不妊症の原因となるのですか？

A.子宮内膜症は女性全体の約20%に見られます。しかし、全ての人が子宮内膜症で不妊症になるわけではありません。不妊症は子宮内膜症の方の約45%に見られます。

Q.どのような病気ですか？

A.受精卵が着床するための子宮内膜があります。その子宮内膜細胞が、何らかの原因で子宮内腔以外に発生し、生育している病気です。子宮内膜は月経周期を通じて増殖と剥離出血を繰り返します。本来は子宮内腔だけで起こるはずのことが、子宮内腔以外の場所でも起こります。そのため、それらの場所で炎症を起こしているような状態になります。

子宮内膜症は卵管や卵巣、ダグラス窩、膀胱子宮窩などの子宮周囲の組織に最もよく見られ、年月が経つにつれて炎症が大きくなり、症状を悪化させることがあります。やがて子宮の機能に影響を及ぼし、不妊の原因となります。

Q.子宮内膜症は自己判断ができますか？

A.月経時のひどい痛みなどで気づくこともありますが、全く痛みを感じないこともあります。痛いから不妊症というわけではなく、痛みがなくても不妊症である可能性があります。

Q.どのような治療法がありますか？

A.手術療法（開腹手術、腹腔鏡手術）や薬物療法（擬妊娠療法、擬閉経療法）があり、場合により両者を併用します。

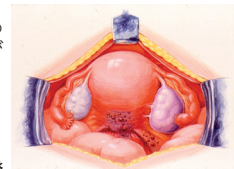
Q.妊娠することで症状が改善すると聞いたのですが、本当ですか？

A.子宮内膜症は月経のたびに悪化することが多いのですが、逆に妊娠することでホルモンのバランスが変化し、子宮内膜の増殖が抑制され、病状がかなり軽減することが知られています。

＊『フェルチクリン』の中野英二医師にご回答いただきました。

（図の説明）

開腹した図。子宮の外にある小さい丸いものが子宮内膜症の原因。本来、子宮内膜が発生する場所ではない部分に発生している。



フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista- São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

www.ferticlin.com.br / ferticlin@terra.com.br

